



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しく下さい。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。


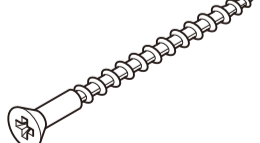
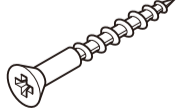
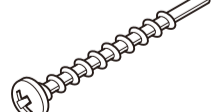
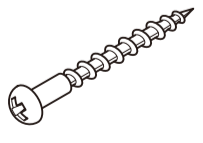
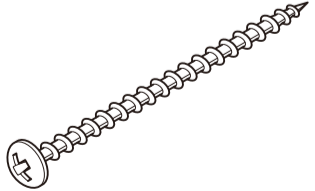
▲注意

- 本製品は複層ガラス使用の場合、組立て後の製品重量は最大で約 80kg になります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 障子脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm 以下）で開口部を作ってください。
 - ・必ず指定のスクリー釘・木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
 - ・躯体取付けねじは必ず釘を固定した後に締付けてください。
 - ・障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。
- 漏水の原因になることがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。（本文中の図参照）
 - ・鏡板戸袋タイプの場合は取付け後、戸袋皿板・戸袋屋根・戸袋側上部ジョイントブロックの指定個所に必ずコーキング材を充てんしてください。
 - ・側板ブラケットは柱などの構造体又は補強した個所に取付けてください。
 - ・外壁材の上から側板ブラケットを取付ける場合は、φ3.3以下のドリルで下穴をあけ、コーキング材を充てんしてから木ねじで固定してください。（最大壁厚40mm）
 - ・浴室にご使用の場合は必ず、浴室防水部品セット（別売り）をご使用ください。
- 11枚建ての場合は、戸袋ブラケットを構造材に付けられるように躯体を作ってください。戸袋皿板が外側にころび、雨戸が脱落するおそれがあります。

■取付け上のお願い

- 必ず指定のねじで枠を躯体に固定した後、障子を建込んでください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したり、アングル波打ちの原因となるおそれがあります。
- 戸袋は仮止めの後、必ず戸袋皿板の水平を出してから固定してください。
- 施工前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。アングル波打ちの原因となります。
- テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台（下枠取付け位置）から37±1mmにしてください。アングル波打ちの原因となります。

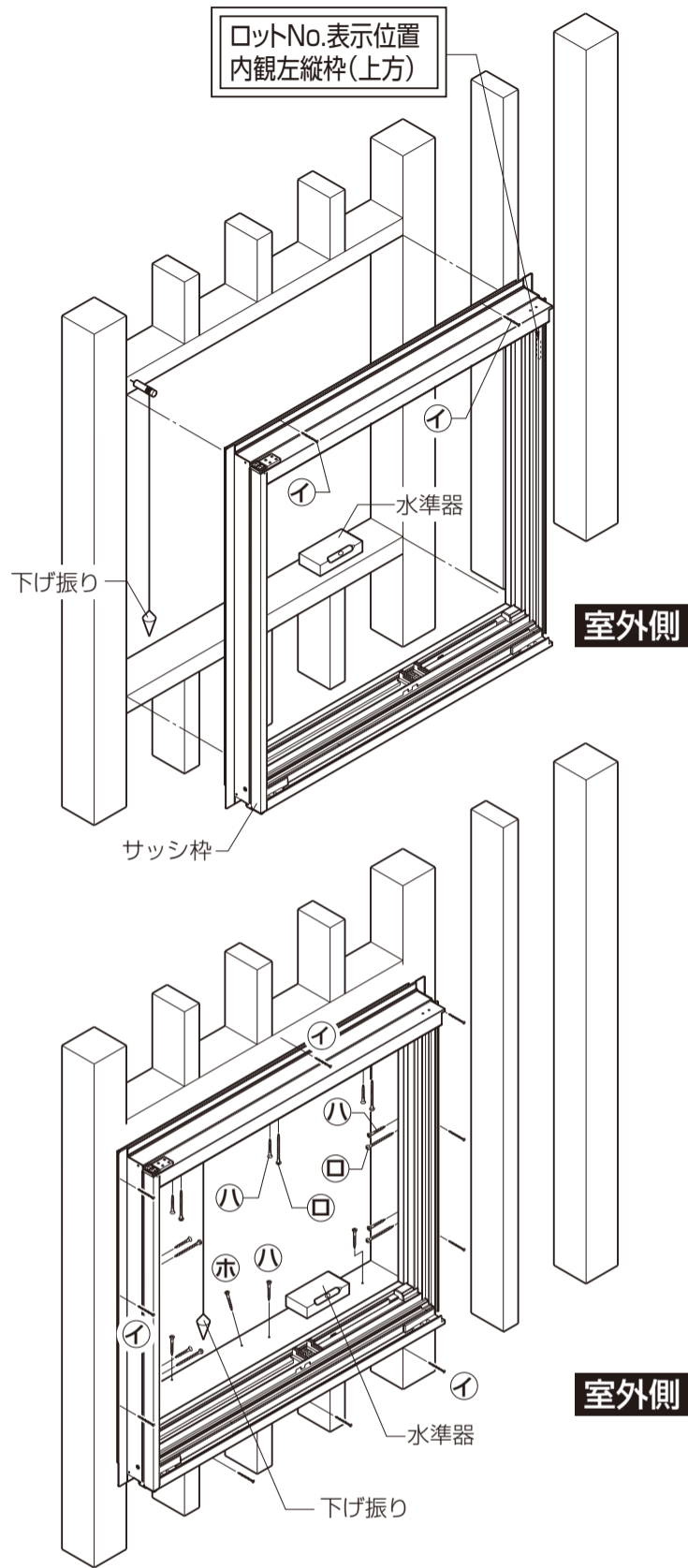
■取付けねじ一覧表

イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ
					
スクリー釘 φ2.1×32	皿木ねじ φ3.5×38	皿木ねじφ3.1×20 (アングル部)	バインドタッピンねじ φ4×35	丸木ねじφ3.5×25 [テラスおよびアングル付き窓 (H1400以上又はW2000以上)のみ]	トラスタッピンねじ φ4×65 (鏡板なしタイプのみ)

■取付け順序

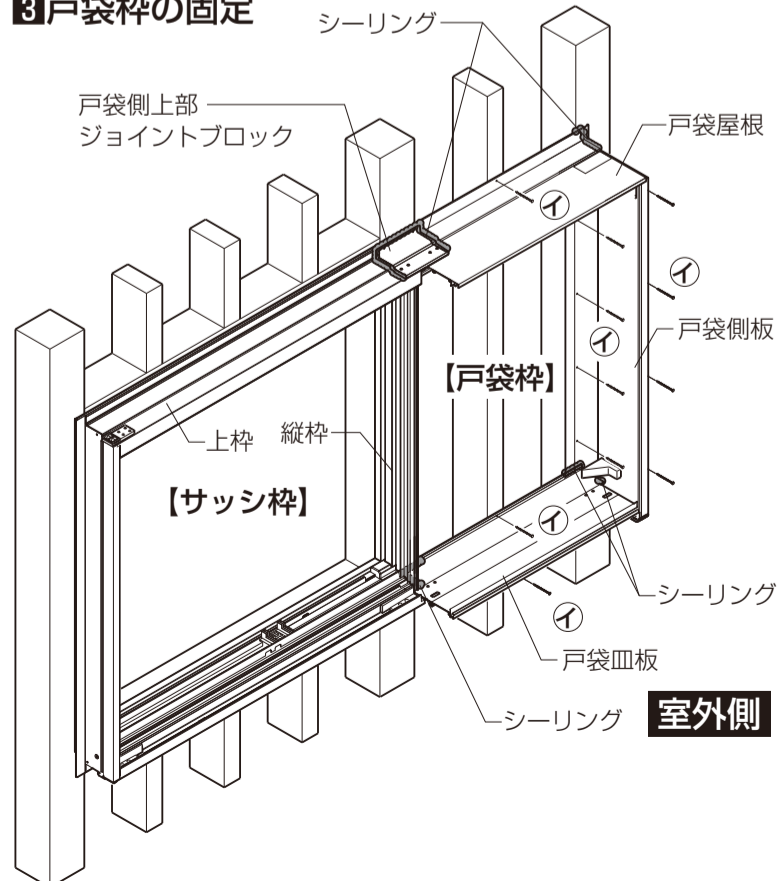
【鏡板付きタイプ】

1 サッシ枠の固定



2 サッシ枠と戸袋枠の連結

3 戸袋枠の固定



■取付け詳細

【鏡板付きタイプ】

1 サッシ枠の固定

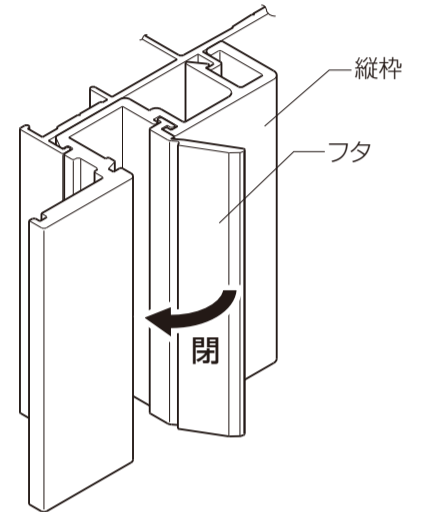
- ①開口部の水平・垂直を確認し、サッシ枠を仮止めします。
- ②下げ振り・水準器でサッシ枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。

▲注意

- 取付けねじは必ず締付けてください。下枠が外側にころび、障子が脱落するおそれがあります。

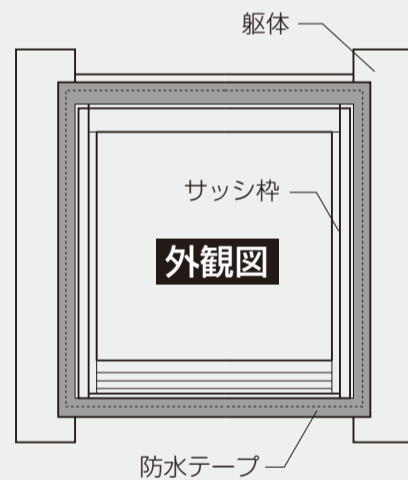
※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじや釘で適切なトルクにて締付けます。
 ※躯体取付けねじは障子建込み前に固定してください。

- ③躯体取付けねじ固定後、縦枠のフタを上端又は下端から閉じてください。
 ※フタが落ち込むおそれがありますので、フタを閉じる際はハンマーなどではたたかないでください。
 ※フタ付はシンフォニーのみです。(シンフォニー以外及びHKKは対象外です)



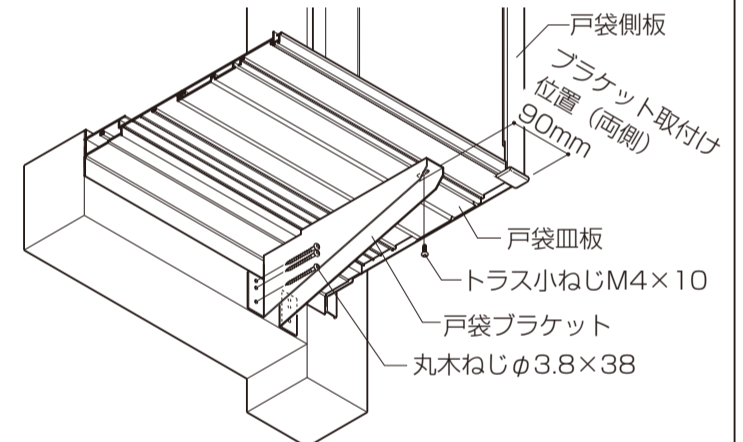
▲注意

- 本製品取付け後、必ず防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になることがあります。



■11枚建て戸袋ブラケットの取付け

※11枚建ての場合は、サッシ枠と戸袋枠を躯体に固定した後、戸袋ブラケットを取付けてください。



▲注意

- 戸袋ブラケットを構造材に付けられるよう躯体を作ってください。雨戸が脱落するおそれがあります。

2 サッシ枠と戸袋枠の連結

※「組立て説明書」を参照してください。

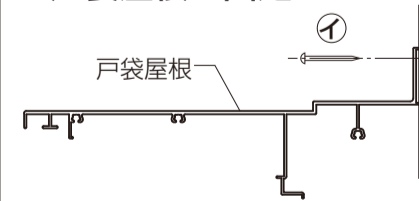
3 戸袋枠の固定

- 戸袋枠・戸袋側上部ジョイントブロックを躯体に固定します。

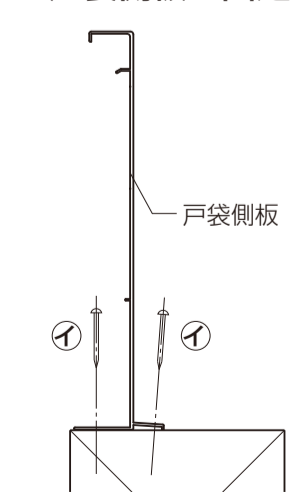
▲注意

- 取付け後、戸袋屋根・戸袋側上部ジョイントブロックの指定箇所(●部)に、必ずコーキング材を充て込んでください。漏水の原因になることがあります。

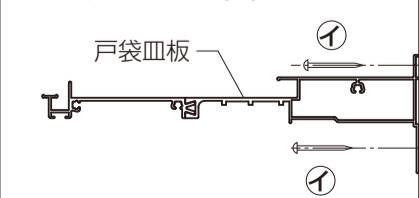
■戸袋屋根の固定



■戸袋側板の固定



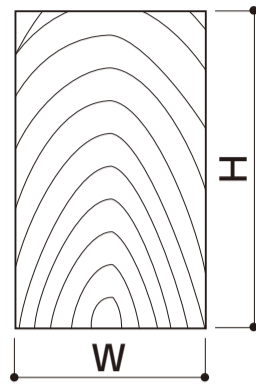
■戸袋皿板の固定



4 内張り耐水ベニヤの取付け

4 内張り耐水ベニヤの取付け

- 右表の寸法にしたがって切断し、戸袋枠内部の躯体に釘で固定します。



■半外付

呼 称	H寸法
07	747
09	947
11	1147
13	1347
15	1547
18、22M	1847
20	2047
22	2247

呼 称	W寸法
063	620
066	655
094	935

■204テラス

呼 称	H寸法
18A	1807
20A	2007
22A	2207

呼 称	W寸法
066	655
089	885

■204単純段差

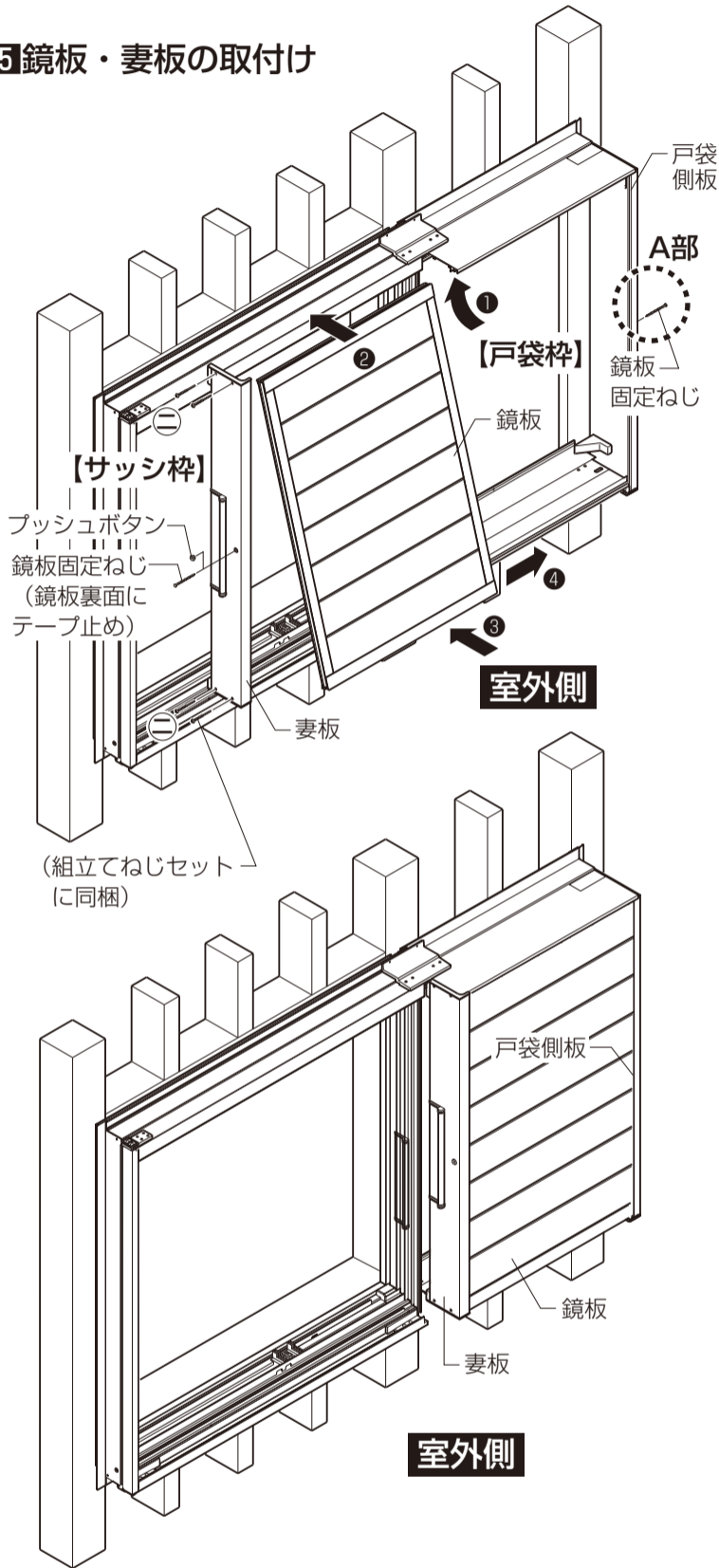
呼 称	H寸法
18	1847
20	2047
22	2247

呼 称	W寸法
066	655
089	885

5 鏡板・妻板の取付け

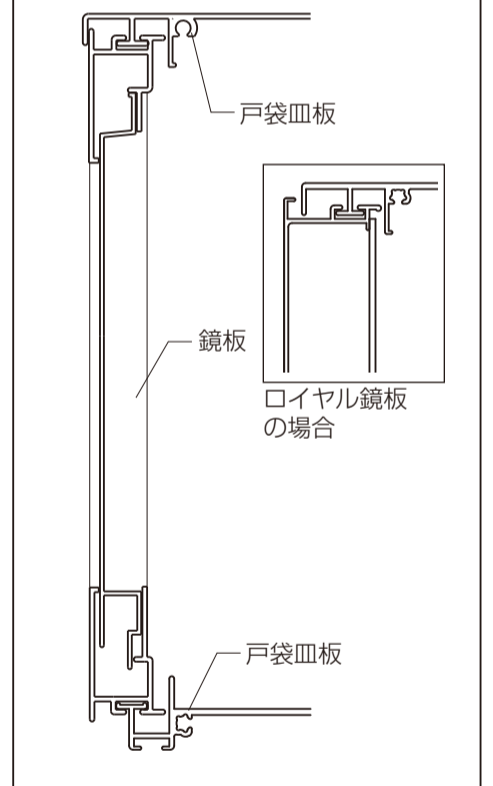
5 鏡板・妻板の取付け

- ①鏡板をサッシ枠側から左図の手順で差込みます。
 - ②妻板・戸袋側板と固定します。
- ※鏡板固定ねじは、鏡板裏面にテープ止めしてあります。
- ※入隅などのため戸袋側板と固定できない場合は、戸袋部品セットに同梱の穴ふさぎシールを戸袋側板に張ってください。(A部)



■鏡板の差込み

※上枠側から先に入れてください。



6 障子の建込み

【鏡板なしタイプ】

1 サッシ枠の固定

- 【鏡板付きタイプ】と同様の手順で取付けます。

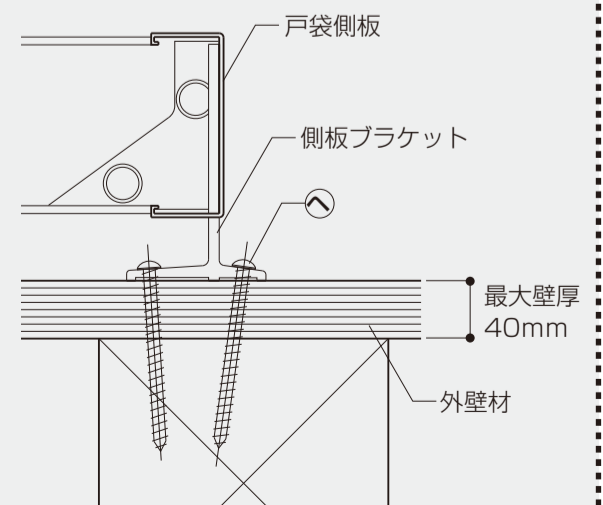
2 戸袋枠の固定

- サッシ枠に戸袋枠を連結します。(「組立て説明書」を参照してください。) 皿板の水平を出した後、側板ブラケットを躯体に固定します。側板ブラケットの出幅を調節して戸袋に固定します。

3 障子の建込み

▲ 注意

- 側板ブラケットは、柱などの構造材又は補強した個所に取付けてください。雨戸が脱落するおそれがあります。
- 外壁材の上から側板ブラケットを取付ける場合は、φ3.3以下のドリルで下穴をあけ、コーキング材を充てんしてから木ねじで固定してください。(最大壁厚40mm) 漏水の原因になることがあります。



■雨戸の建付けと締め受けの調整

■雨戸の建付け調整

●雨戸の戸車で建付け調整をします。雨戸が締め受けに当たる場合は、スペーサーをスライドして外します。

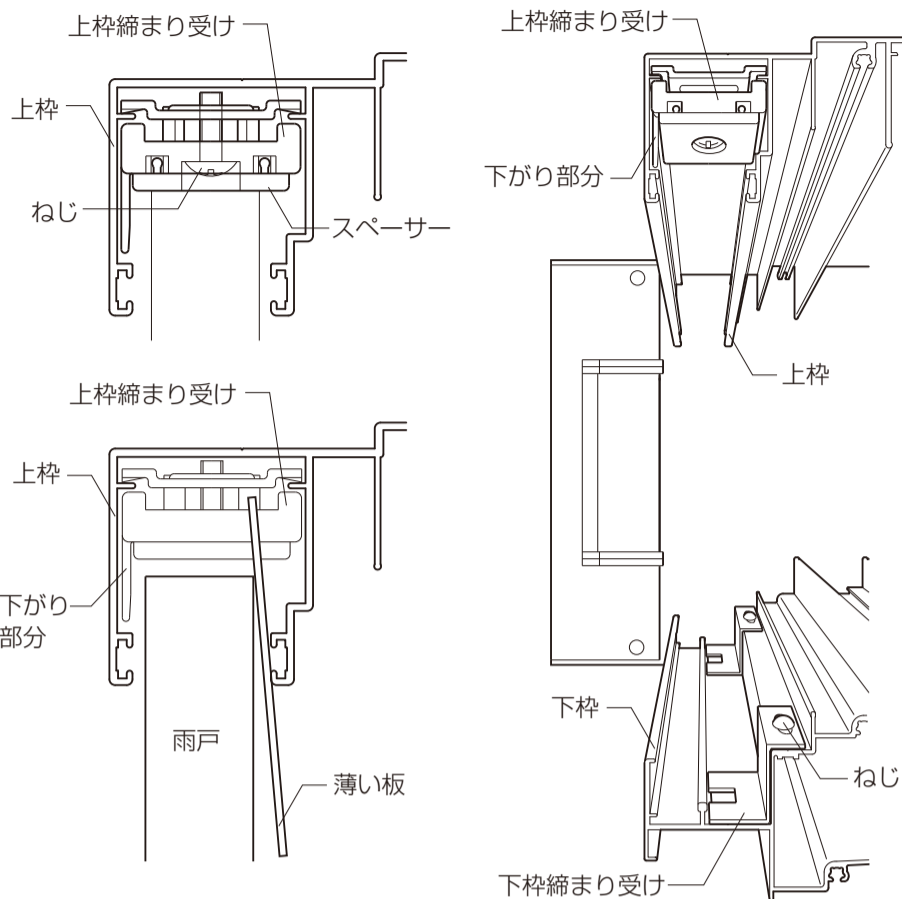
■上枠締め受けの調整

- ①上枠締め受けを止めているねじをゆるめ、移動できるようにしておきます。
- ②雨戸をすべて閉め、締め受けのロッドを上げます。
- ③直尺などの薄い板を雨戸と上枠のすき間から差し込み、上枠締め受けをロッドに当たるまで移動させます。
- ④締め受けのロッドを下げ、雨戸をあけます。上枠締め受けの位置をずらさないよう下がり部分(右図参照)を指で押さえ、ねじをかるく締めます。
- ⑤締め受けのロッドのかかり具合を確認した後、ねじを締めます。上枠締め受けが動かないように、確実にねじを締めてください。

※インパクトドライバーは、ねじ山を破壊するおそれがあるので使わないでください。

■下枠締め受けの調整

●下枠締め受けの穴にロッド位置がくるよう、ねじをゆるめて調整した後固定します。

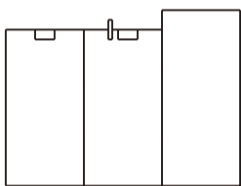


■雨戸外れ止めの調整

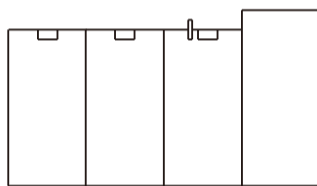
●雨戸外れ止めが右図の位置になるよう、ねじをゆるめて調整した後固定してください。

※雨戸外れ止めは、締め受けと共通部品です。

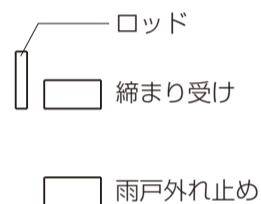
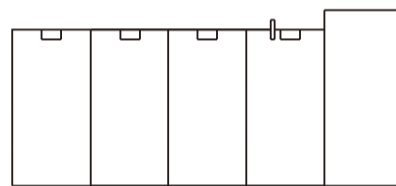
(雨戸2枚建て)



(雨戸3枚建て)



(雨戸4枚建て)



■建付け調整

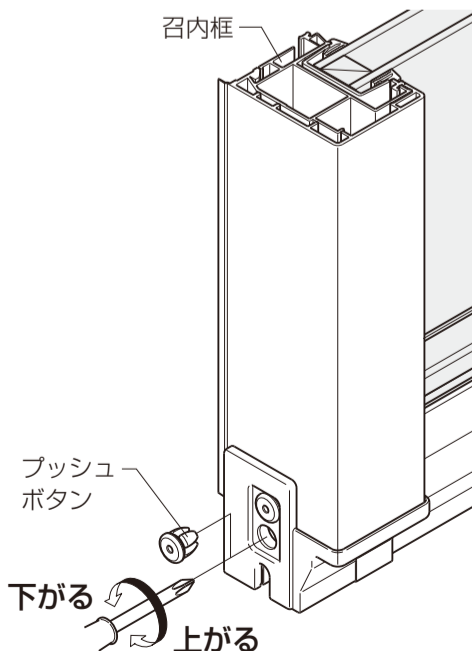
■戸車調整

●プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。)

※出荷時、障子は下がった状態にあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

お願い

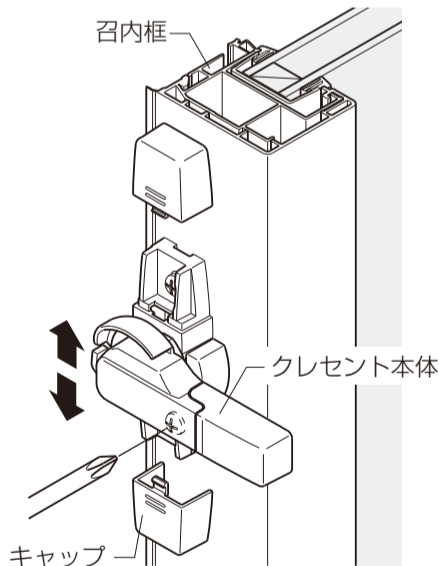
※召外下部を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(障子を閉めた状態で部品を下げてすき間をなくします。)



■クレセント調整

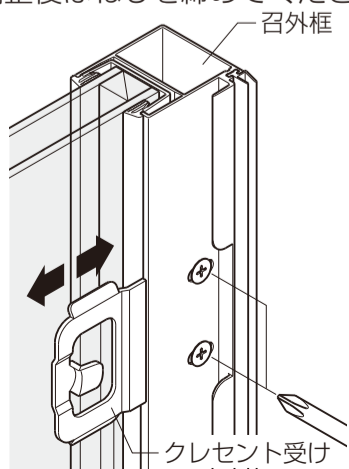
【上下方向の調整】(クレセント本体)

- ①キャップを外します。
 - ②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。



【左右方向の調整】(クレセント受け)

- プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。
- ※調整後はねじを締めてください。



※図はクレセント受けの形状が異なる場合があります。

■外れ止め調整

●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。

※調整後はしっかりねじを締めてください。

▲注意

●必ず外れ止めを上げてください。障子が落下するおそれがあります。

